

一期一会

ジセル・ティタニア・アントニウス

一期一会。それは、一生に一度だけの機会。

生涯に一度限りであること。生涯に一回しかない
なにと考えて、そのことに専念する意。

時間は決して私たちの味方ではなく、与え

てくれたもの上りも奪、てい、たものの方が

はるかに多いです。私たちはその過程で謙虚

になり、この世で与えられた限られた時間の

大切さを教えられました。私たちは赤ちゃんな

としてこの世に生まれ、両親の腕に抱かれ、

両親の人生の宝物として育てられました。く

すくす笑、たり、叫んだり、泣いたり、よち

よち歩いたりした全部の初めての行動を両親

は大事にししました。

いつのまにか、あの騒がしい子供たちは反

抗的な若者に成長しました。笑いすむとほっ

ぺたが痛くた、たり、食堂でランチを食べた

がら初恋の話を交わしたり、人生最大の難関

が翌日の数学のテストだ、たりした時期です。

人生のこうした時期は、とてもはかたいもの
 ですが、同時に深いものでもあります。大人
 というプレッシャーのかかる世界に足を踏み
 入れる前に、思い出す価値のある青春。
 大人になら、たら、今度は何をするのか。イ
 ンドネシアでは、アジア系の家庭で育つと、
 高校卒業後の選択肢は二つだけでした。評判の
 いい大学に入るか、同級生より早く社会に飛
 び込むかです。私たちは、身近な親戚があな
 たの行動のすべてを批判し、あなたを失敗す
 るのを待つように、あなたを批判的に社会に生
 きていきます。そのため、家族の集まりに出席
 するのは悪夢のようです。大学で何を勉強し
 た。いい会社に入れた。恋愛は。いつ結婚す
 るつもり。質問は尽きません。その結果、私
 たちの周りには、失敗や拒絶を恐れ、見知ら
 ぬ人の生を生きる人々で溢れかえり、生きています。
 しかし、満足し満たされた人生の定義とは
 何でしょう。キャリアにおける驚異的な成
 果でしょう。それとも修士号、あるいは博

士号を取ること。6桁の給料。裏庭とプール
 のある大きな家。長い間尊敬していた人に会
 うこと。地域社会に貢献すること。答えは無
 限です。
 率直に言、て、人生をどう生きるべきかに
 ついてのガイドブックはありません。もしあ
 ったら、どんをに便利を人生だ、たでしよ
 か！しかし、それで何が楽しいでしよ。人
 生最大の問題の解決をは、きり書いたら何が
 楽しいでしよか。人はしばしば、私たちの
 存在が有限であることを忘れてしまいます。
 それを理解するのは難しいですが、時折、最
 も人間的な方法で、私たちは皆、時間を借り
 て生きているのだというのを思い出してほ
 しいです。私たちは自分の身に起こることを
 コントロールできるかのように生きています。
 しかし、そうではありません。実際には、私
 たちは自然の力で生かされているのであり、
 自由が与えられている部分はほんのわずかに
 すぎません。

時間をかけてもいいのです。私たちは、キ
 ャリアや将来に關して、できるだけ早く前進
 することを求められる時代に生きています。
 人々はしばしば、今ある人生に感謝すること
 を忘れてしまいます。人生は大きな節目だけ
 で成り立っているのではなく、些細なことで
 成り立っていることを忘れていません。ワラス
 で交わされた冗談、先生が入ってくるときの
 おはようの挨拶、帰り道で親の手を握るとき
 の生徒の笑顔。日常生活で出会う人々、小さ
 を親切、訪れる場所。ただ散歩中に、肌に当
 たる日差し、夏のそよ風が吹いて、近くのカ
 レ一屋の匂い。その時、もし慌てていたりした
 ら、こうしたありがたいものの価値に気づく
 ことはできません。
 人生は一度きりです。時にそうできたい世
 界において、深く愛し結ける勇気を持ってほ
 しいです。本物のつながりがまだ存在すると
 信じる勇気を持ってほしいです。人を信じて
 はいけたいことを何度も見せつけてきたこの

世界で、まだ善意が存在すると信じる勇気を
持つてほしいです。自分に喜びをもたらすこ
とをしてほしいです。自分に情け深い人たち
に囲まれてほしいです。そうすれば、他人か
らどう思われるかを人で気にたらくたりま
す。自分には価値があると信じなければなり
ません。3ヶ月後でも、5年後でも、10年後
でもなく、今この瞬間に。一日一日が祝福され
た日です。一日一日が贈り物です。一期一会
という言葉忘れないてください。